目が見えない・見えにくい人びとと共に

**音訳通信**

創刊号　2024（令和6）年1月15日発行

特定非営利活動法人 日本福祉放送 同行援護事業所 **音友（おんゆう）**

〒553-000　大阪市福島区吉野2丁目15－1

　話番番号　０６－６６９０－８７２２

FAX番号　０６－６６９０－８７２３

携帯番号　 ０８０－３８５６－３０５８

メール　　 gh@onyu.jp

表紙の写真　　ガイドの日、制定される

　１2月３日は視覚障害者ガイドヘルパーの日です。

　目が見えない・見えにくい人びとは、ガイドヘルパーの皆さんのおかげで安全に安心して、快適に外出でき、社会との繋がりを持てています。

目次

音友からのお知らせ / カレンダー　　　　　　　２

FAQ / イベント案内　　　　　　　　　　 　　３

こんにちは　酒井智彦 / 編集後記　　　　　　　　 4

**音友**からのお知らせ

　　　　新年のご挨拶

　新たな年が始まりました。

旧年中は大変お世話になりました。

　この1年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

　共に健康に留意し、よき1年にしましょう。

　　　事業所が移転しました

　音友の事業所が10月、福島区の野田阪神に移転しました。JR東西線 海老江駅、大阪メトロ千日前線 野田阪神駅、阪神電車 野田駅からそれぞれ近く、交通の便の良い所です。どうぞお立ち寄りください。

所在地　　　大阪市福島区吉野2丁目１５－１　松井ビル2階

野田阪神交差点、新なにわ筋南に５０ｍ右側

電話番号　０６－６６９０－８７２２

FAX番号　０６－６６９０－８７２３

携帯番号　 ０８０－３８５６－３０５８

メール　　 gh@onyu.jp

　　　水田さん、新たな歩み

　所長の水田幸代さんが1月で退職されます。

　水田さんは、令和5年2月に就任され、実に一生懸命、利用者の安心安全と快適なサービスを目指して尽力してくださいました。今どき珍しいほどに熱心な働き手です。そんな水田さんが音友から去られることは辛いですが、新たな歩みが輝きますよう、音友一同、祈念いたしております。

**音友**の新たな陣容

　1月16日から音友の陣容は次のとおりとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

　　サービス提供責任者　佐藤　庸子

　　受付・事務　　　　　入江　清美

　　管理者　　　　　　　川越　利信

　　　　　研修会・感謝の集い

今年は、原則、毎月、研修会を行います。

　ガイドヘルプサービスの質を高め、より安心安全で快適なサービスを実現するためには常に三者（利用者、ガイドヘルパー、事業所）で学び合うことが大切です。今までは、ガイドヘルパーだけで研修を行っていましたが、これからは三者研修とします。皆さん、お忙しいでしょうが、可能な限りご参加ください。

参加者には、記念品（クオカード）を進呈いたします。

　なお、16時からは、近くでカラオケを楽しみます。時間のある方はどうぞご参加ください。

　日時　１月20日（土）13時30分から15時

会場　インスタベースTATUMI福島ビル１０３号

大阪市福島区福島５-６-31

ＪＲ福島駅徒歩２分　ホテル阪神 東隣

問い合わせ・連絡　音友０６-６６９０-８７２２

　　　オンユーカレンダー

1月

４日（木） 　仕事初め　12月業務の総括統計

　15日（月）　機関紙『音友通信』創刊号発刊

　16日（火）　音友担当者の交代

　20日（土）　GH（ガイドヘルパー）研修・感謝の集い

2月

　23日（金・祝）GH（ガイドヘルパー）研修・懇話会

於：福島区民センター　14時～

3月

　30日（土）　　GH研修・懇話会

於：福島区民センター　14時～

FAQ　疑問　提言　共感

　　　　　へルパ―の日が意味するもの

　12月3日が視覚障害者ガイドヘルパーの日に制定されました。目が見えない・見えにくい人びとやガイドヘルパー（GH）さんにとっては、いやもちろん事業所にとってもたいへん意味のあることだと思われます。

　GHの方々は、ガイドの日制定を当然、歓迎されています。人は誰しも多かれ少なかれ承認欲を持っています。ガイドヘルプの仕事が社会に認識されることは、モチベーションに強く影響するに違いありません。それはすなわち、視覚障害者の安全安心の外出に繋がり、つまりは社会参加の促進を意味します。

　利用者の皆さん、事業所と共に、GHの皆さんに改めて感謝し、三者仲良く長い付き合いをさせていただき、三者のエンゲイジメント（信頼による強い誇りと繋がり）を築いていきましょう。

　　　　　合理的配慮

　4月から合理的配慮が、努力目標から義務化されます。合理的配慮は、障害を持つ私たちが、ごく普通に社会生活を営むために社会の皆さんに理解していただきたい基本的な障害理解のポイントです。

そうは思いますがこれまでの経験から、言うは易し、実際には社会の皆さんに理解していただくのはそう容易ではないように思います。ではありますが、知恵を出し、工夫し、理解と共感が得られるように、そして社会による合理的配慮で障害を持つ私たちが多くの市民の方々と一緒に普通に社会生活を営むことができるように微力を出していきましょう。

**イベント**

**カラオケ同好会**

日時　　1月20日（土）16時～19時30分

場所　　ビックエコー野田阪神駅前店

人数　　８名または８組まで

料金　　2千円　付き添いは無料

連絡　　０６－６６９０－８７２２（音友）

新春落語会

日時　　2月4日（日）　西成区民センター1階ホール

　　　　　13時30分受付　14時開演　16時終演

　　　　　大阪メトロ四つ橋線 岸里駅 徒歩2分

出演　　桂南天(かつらなんてん)

露の新幸(つゆのしんこう)

桂雀喜(かつらじゃっき)

漫才：ねこまんま(桂南天・桂雀喜)

三味線：はやしや香穂(かほ)

主催　　大視協（大阪市視覚障害者福祉協会）

協力金 大視協会員 500円 、非会員 １千円。付き添いは協力金不要。

申込み １月26日(金) まで。電話申込み、オーケー。

　　　　 　電話　０６－６７６５－５６００（大視協事務局）

開演後は、休憩時間以外の出入りはできません。

マスク必着。

観よう、世界の強豪　パラアスリート

２０２４　国際親善女子車いす大阪大会

イギリス、オーストラリア、カナダ、日本、世界のトップアスリートが大阪に集合、熱い試合を見逃すな！

観戦無料

日時　　2月16日（金）～18日（日）

会場　　Asue（アスエ）アリーナ大阪

　大阪メトロ中央線　朝潮橋駅より３００ｍ

連絡先　０６－６６０６―１６３１（実行委員会）

　　　　　こんにちは

酒井　智彦（利用者）

皆さんこんにちは。兵庫の片田舎、丹波篠山市に住んでいます酒井智彦、６９歳です。

全盲になって、２５年。同行援護と出会ったのは、５０歳を越え、仕事も出来なくなった２０１３年ころ。それまでは、目が見えずらくなっても何とかごまかしていたように記憶しています。今は3か所の同行援護事業所を行き先、内容により選択してお世話になっております。

ガイドヘルパーのありがたさに気づくのは還暦に近づいた頃。以来、行動派の私にとって白杖、障害者手帳、ヘルパーさんは三種の神器となりました。

聞けば、私は音友の利用者第一号だということらしいですね（笑み）。当初は、パソコン教室などで神戸・阪神間に行く際だけに利用していたが、趣味のカラオケの先読み、会合やイベントの参加に加え、買物やUD映画の鑑賞などもヘルパーさんにお世話いただくうち、行動範囲が広くなりました。

ネット社会と言いますかデジタル社会に対しても、携帯電話の利便性が向上しアプリが豊富になり、パソコンの利用も相まって順応できています。

健康面では、同行援護のおかげで８年前から走り始めたブラインドマラソンも気持ちよく参加できています。

何よりも前向きに慣れたのが一番大きい。ヘルパーさんと一緒だと、安心感が生まれます。

月に１０日間ほど外出する際には、同行援護を第一に決め、事業所への連絡を早くするほど心の準備も進むと思っています。

　ヘルパーさんは、家族とは違いますが、利用者の私たちにとっては、ブラインドマラソンで言う絆ロープ、人と人を結びつける命の手綱みたいなもの。何気ない世間話をしながら外出を支援し、見えなくても笑顔で会話できるのが、ガイドヘルパーさんですね。

これからも頼りにしています。

編集後記

かねてから発刊を希望していた機関紙の創刊号をやっとお届けできます。発刊の思いは、一点。三者が手を繋ぎ、心を通わせ、いい同行援護ができるようになることです。

創刊号、未熟で不十分な編集ですみません。徐々に充実させていきたいと願っています。ご支援ください

事業所の人事体制も変わりました。慣れるまでいろいろご迷惑をおかけすこと思います。お気づきのことや疑問点、苦情など、どうか率直にご指摘ください。そして、頼れる、親しまれる事業所に皆さんで育ててください。

　ところで、酒井智彦さんはいい生き方をされてますね。巷間言われるように丹波の黒豆がいいのかな。水田さんが15日で事実上、退職されます。人はどこにいても一所懸命に生きるからこそ輝きます。立場を超えてたまには酌み交わし、愚痴り、夢も語り合いたいものです。（川越）